



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月23日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7477 URL <http://www.muraki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典 TEL 042-357-5610  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,019	△4.1	△52	ー	0	△100.0	△6	ー
27年3月期第1四半期	2,104	△7.5	17	△65.6	29	△54.1	13	△75.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △4百万円 (ー%) 27年3月期第1四半期 15百万円 (△70.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△0.47	ー
27年3月期第1四半期	0.96	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	4,484	2,304	51.4	162.27
27年3月期	4,951	2,322	46.9	163.59

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,304百万円 27年3月期 2,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	1.00	ー	1.00	2.00
28年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
28年3月期(予想)	ー	2.00	ー	1.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,237	0.8	14	△69.1	43	△45.1	13	△61.2	0.94
通期	8,600	1.5	66	△16.6	125	△6.1	65	5.0	4.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	14,700,000株	27年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	500,924株	27年3月期	500,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	14,199,076株	27年3月期1Q	14,199,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、順調な米国経済や再燃するギリシャの債務問題から停滞する欧州経済、減速感が強まる中国経済に対し底堅く、円安と原油価格の低位安定を主要因として輸出関連企業群を中心に企業収益が大きく持ち直しております。結果、雇用の増加を生み出し個人消費の緩やかな回復も相まって堅調に推移いたしました。

一方で少子高齢化により労働人口及び就業者数は減少の一途をたどり、人材の確保が成長戦略の重要課題となるという不安定要素も内包した状況が続いております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、一時期の燃料油価格の乱高下から落ち着きをとりもどしてはいるものの、依然としてユーザーの買い控え意識が強く油外商品を除いた燃料油販売事業における収益環境が今後大きく改善することがない現在、トップアナリストも提唱する自動車関連ビジネス、所謂当社が推進するトータルカーライフサポートビジネス(T・C・L・S・B)の重要性が浸透しつつあります。

このような状況のもと、当社におきましては前年の「M-WING」をとおしてSSにおける店頭空間の変革を提案し大きな反響を得ました。これを受け2015ムラキプロジェクトは店内空間と情報発信機器に注力し併せて「快適新空間」を追求した店内空間のリノベーションを提案してまいります。当社が無作為抽出によるSSに対して行ったアンケート結果はその7割以上のSSが開店より20年が経過していること、且つその半数が店内改装の経験がないというものでありました。当社はここに注視し、SSに対しては『簡単・安い・オリジナル』をSSユーザーには『行ってみたい・入ってみたい・また利用したい』をコンセプトに2015ムラキプロジェクトが始動しております。

商品別分析におきましては洗車機洗剤を除く、オイルエレメント・ワイパーブレード及びバッテリーにおいて前年度末の拡販活動の反動による一時的な需要減少から売上高及び収益面において若干前年を下回る結果となりました。但しこれは想定内の数値であり、第2四半期以降において十分巻き返しが図れる範囲であると考えております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 2,019百万円(前年同期比 4.1%減)となりました。

収益面におきましては、営業損失 52百万円(前年同期は営業利益 17百万円)、経常利益 5千円(前年同期比 100.0%減)、法人税等 6百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は 6百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益 13百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 1,949百万円(前年同期比 6.5%減)セグメント損失は 52百万円(前年同期はセグメント利益 17百万円)となりました。「その他」の事業につきましては売上高は 115百万円(前年同期比 123.8%増)となりセグメント損失は 981千円(前年同期はセグメント損失 2,061千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は 3,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ 413百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 253百万円、商品及び製品が 141百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は 1,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ 54百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が 57百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は 4,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ 467百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は 1,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ 368百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 324百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が 22百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は 861百万円となり、前連結会計年度末に比べ 80百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少 82百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は 2,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ 448百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ 18百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金によるものであります。

この結果、自己資本比率は 51.4%(前連結会計年度末は 46.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,839,575	1,585,662
受取手形及び売掛金	1,110,352	1,031,871
商品及び製品	785,465	643,928
繰延税金資産	4,124	9,578
その他	115,574	170,934
貸倒引当金	△890	△1,116
流動資産合計	3,854,200	3,440,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,790	770,790
減価償却累計額	△688,847	△690,504
建物及び構築物(純額)	81,942	80,285
機械装置及び運搬具	28,072	27,377
減価償却累計額	△26,310	△25,832
機械装置及び運搬具(純額)	1,761	1,544
土地	438,325	438,325
リース資産	6,201	3,326
減価償却累計額	△3,928	△1,219
リース資産(純額)	2,273	2,106
その他	168,411	177,700
減価償却累計額	△161,727	△161,948
その他(純額)	6,683	15,752
有形固定資産合計	530,986	538,014
無形固定資産	51,682	48,074
投資その他の資産		
投資有価証券	58,054	61,324
差入保証金	342,748	340,478
その他	125,136	66,596
貸倒引当金	△11,020	△11,020
投資その他の資産合計	514,919	457,379
固定資産合計	1,097,588	1,043,469
資産合計	4,951,789	4,484,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,064,683	739,822
1年内償還予定の社債	51,000	26,250
1年内返済予定の長期借入金	404,497	381,872
リース債務	691	697
未払法人税等	48,429	15,717
賞与引当金	5,490	3,732
その他	111,957	150,526
流動負債合計	1,686,748	1,318,616
固定負債		
長期借入金	615,561	533,238
リース債務	1,768	1,591
役員退職慰労引当金	32,440	35,072
退職給付に係る負債	280,501	279,263
繰延税金負債	460	1,482
その他	11,439	10,939
固定負債合計	942,169	861,587
負債合計	2,628,918	2,180,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	367,262	346,329
自己株式	△47,442	△47,442
株主資本合計	2,319,125	2,298,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,745	5,931
その他の包括利益累計額合計	3,745	5,931
純資産合計	2,322,870	2,304,123
負債純資産合計	4,951,789	4,484,327

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,104,519	2,019,108
売上原価	1,539,056	1,514,759
売上総利益	565,463	504,348
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	249,124	262,549
賞与引当金繰入額	9,056	3,732
役員退職慰労引当金繰入額	2,698	2,632
貸倒引当金繰入額	—	169
その他	286,856	287,566
販売費及び一般管理費合計	547,735	556,650
営業利益又は営業損失(△)	17,727	△52,301
営業外収益		
受取利息	657	582
仕入割引	10,479	5,803
保険解約返戻金	—	46,693
その他	3,399	3,008
営業外収益合計	14,536	56,087
営業外費用		
支払利息	1,707	2,153
手形売却損	363	379
貸倒引当金繰入額	—	56
その他	224	1,190
営業外費用合計	2,295	3,780
経常利益	29,968	5
特別損失		
固定資産除却損	106	0
特別損失合計	106	0
税金等調整前四半期純利益	29,862	5
法人税、住民税及び事業税	10,708	12,141
法人税等調整額	5,558	△5,402
法人税等合計	16,267	6,739
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,595	△6,733
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	13,595	△6,733

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,595	△6,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,282	2,185
その他の包括利益合計	2,282	2,185
四半期包括利益	15,878	△4,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,878	△4,548
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,082,923	21,596	2,104,519	—	2,104,519
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	615	30,109	30,724	(30,724)	—
計	2,083,538	51,706	2,135,244	(30,724)	2,104,519
セグメント利益又は損失 (△)	17,005	△2,061	14,944	2,783	17,727

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,783千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
 3. 「その他」の区分には、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,949,050	70,058	2,019,108	—	2,019,108
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	45,644	45,666	(45,666)	—
計	1,949,072	115,702	2,064,774	(45,666)	2,019,108
セグメント損失	△52,439	△981	△53,421	1,119	△52,301

- (注) 1. セグメント損失の調整額1,119千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。  
 3. 「その他」の区分には、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。